

## 2 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 12 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25	認知症の進行に伴い、自身の思い、健康状態の変化等を表現する事が困難である。	入居者一人ひとりが安心、安全な生活を送れるよう支援する。	毎日の生活の中で入居者一人ひとりの行動、表情、表現等から現状を把握し、場に合った対応を提供する。 バイタル表、排泄チェック表を利用し状態変化の早期発見、対応に努める。	1ヶ月毎
2	12	職員一人ひとりが向上心を持ち、やりがいのある職場作りに努める。	入居者、職員が生き生きとした、満足した生活を送る。	研修委員会、保健委員会を通し、情報を共有し質の向上に努める。 研修会等に積極的に参加する。 職員会議を利用し、発言の場を設け自身の意識向上に努める。	3ヶ月
3	49	入居者個々の外出頻度が少なく、希望を取り入れた個別支援(外出)を増やしていく。	外へ出掛ける事で、視点、身体表現に変化をもたらせ、環境の大切さを感じて頂くよう支援する。	日々の生活リズムを大切にすると共に、会話を通じて思いを引き出し、その場を大切にすることを個々の思いとし、受け止めながら相互共有を図る。 自己選択出来るよう支援し、楽しみを共に分かち合えるよう努める。	6ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。